

第98回男子全日本ホッケー選手権大会

2024年12月28日(土)～12月30日(月)

公式試合記録



公益社団法人

日本ホッケー協会

試合番号	開催日	開始時間	プール/回戦	試合会場
⑧	12月30日(月)	13:30	決勝戦	大井ホッケー場 メインピッチ

チーム名	岐阜朝日クラブ (岐阜県)
------	------------------

2	1	1	Q	0	2
	0	2	Q	0	
	0	3	Q	1	
	1	4	Q	1	

チーム名	L I E B E 栃木 (栃木県)
------	-----------------------

2	S O	4
---	-----	---

出場時間	背番号	氏名 (GK/C)	G	Y	R
×	1	柏木 蓮			
×	2	井上 拓哉			
5	3	加藤 宏明			
×	4	藤井 辰憲			
×	5	永井 祐真			
4	6	山中 基矢			
4	7	川崎 龍人			
×	8	田中 世蓮 (C)			
×	10	丹羽 巧磨	27		
×	11	縣 諄		58	
4	13	佐橋 翔太			
×	14	後藤 新			
4	17	小沢 諒			
×	21	山田 翔太			
×	23	河邊 皓星			
16	24	北河 拓実 (GK)			
4	27	伊帳田 樹			
×	30	吉川 貴史 (GK)			
コーチ	長屋 恭一				

出場時間	背番号	氏名 (GK/C)	G	Y	R
×	2	下畝地 洸聖			
5	4	霧下 義貴			
	6	江田 司			
×	7	加藤 凌聖			
5	8	大嶋 鴻太			
×	9	大橋 雅貴			
×	10	川村 裕亮 (C)	33		
×	11	松本 航			
	12	高橋 一晟			
5	14	大橋 飛人			
×	15	永吉 拳			
5	17	大岡 凌磨			
5	19	千葉 友貴			
×	20	和田 公志			
×	27	森田 陽介 (GK)			
×	28	星 卓 (C)			
×	29	村田 和麻			
×	30	落合 大将			
コーチ	若林 勝己				

監督	藤井 辰憲
アンパイア	Steve Rogers
スコアリングジャッジ	増田 久則
T O	杉浦 利哉

監督	福田 敏昭
アンパイア	清水 雅生
タイミングジャッジ	高野 禎
リザーブアンパイア	堀江 紀之

チーム	時間	No.	種類	得点
岐阜朝日	5	13	FG	1 - 0
LIEBE	31	7	PC	1 - 1
LIEBE	47	29	FG	1 - 2
岐阜朝日	48	21	PS	2 - 2

チーム	時間	No.	種類	得点

チーム	時間	No.	種類	得点

種類：FG = フィールドゴール、PC = ペナルティコーナー、PS = ペナルティストローク

特記事 VUMP 小林 哲也

No.	SO戦										計																	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10																		
結果	○	×	×	○							2	先攻	10	19	7	17											計	4
												後攻	30	守備者	27													

結果：○ = ゴール、× = ノゴール、※ PSは備考欄へ記入

第2試合

岐阜朝日クラブ

$$2 \begin{pmatrix} 1 & 1Q & 0 \\ 0 & 2Q & 0 \\ 0 & 3Q & 1 \\ 1 & 4Q & 1 \end{pmatrix} 2$$

2 SO 4

LIEBE栃木

得点	岐阜朝日クラブ→5分佐藤、48分山田
	LIEBE栃木→31分加藤、47分村田
戦評	<p>昨年と同じ顔触れとなった決勝戦はL栃木のセンターパスにより試合が開始された。第1Q、やや栃木が押し気味の立ち上がりと思われた矢先の5分、岐阜#17小沢が右からドリブルでえぐり込み折り返す。一旦はDFにボールを奪われるも、こぼれ球を#13佐橋がダイレクトで豪快なヒットシュートを打ち込み先制ゴール。13分岐阜のPCで#21山田のシュートは栃木GK#27森田の好セーブに阻まれ、終了間際の15分栃木の速攻は逆に岐阜GK#30吉川の好セーブに阻まれるなど激しい攻防が続いたが、岐阜1-0リードで終了。</p> <p>第2Qは双方速い攻めで互角の攻防が展開された。24分岐阜#1柏木のヒットシュートはGK#27森田の再度の好セーブに阻まれる。28分岐阜#10丹羽のグリーンカードに伴う栃木のPCはアゲイン後#15永吉のフリックシュートが惜しくも右に逸れる。29分栃木#15永吉のシュートもGK#27北河の好セーブに阻まれる。30分岐阜のPCも#6山中のフリックがGK森田に阻まれる。互いにチャンスを作るもGKの好セーブで得点を許さない。第3Qに入り、立ち上がり31分、栃木がPCを獲得する。岐阜GK#30吉川がシュート2本を止めるもアゲイン後、栃木#7加藤がゴール左下にシュートを決めてついに栃木が追いつく。その後はやや落ち着きつつ要所要所で激しい攻防を見せるも1-1のまま試合は最終Qへと進む。第4Qは立ち上がりから得点とPCの激しい奪い合いとなる。47分栃木#29村田が左45度からのヒットシュートで逆転。直後の48分、岐阜#5永井のプレーが反則を誘いPSとなる。これを#21山田が左上隅に決めて再度同点とする。49分に双方PCを取るも岐阜GK#27北河の好セーブ、栃木DF陣の好守で得点ならず。その後、最後までスピードの落ちない一つ一つのプレーが緊張感に満ちた攻防が続き、2-2のまま第4Qが終了。昨年に続き、両チームによる決勝戦はSO戦決着となった。</p> <p>SO戦はGK森田が2本を止めた栃木が4-2で制し、2年ぶり2回目の優勝を遂げた。</p>